

第34回 公サ連まつり

5/24(土) - 25(日)

初日は生憎の雨天となったため、ロビーにて開会式を行いました。その後、三階市民ホールにおいて、午前中は落語で大いに笑っていたが、午後からは「たけのこバンド」による演奏で、会場は大いに盛り上がりました。二日目は、市民ホールにおいて芸能サークルによる発表が行われ、日頃の活動の成果が披露されました。

美術工芸サークルは二日間にわたり作品を展示していただきました。また、お茶部門や製品販売など、公サ連の各サークルが総力を挙げ、来場者の皆さまにお楽しみいただけるよう企画いたしました。



ごあいさつ

人生を楽しむ秘訣とは

公民館サークル連絡協議会の皆さま、日頃は公民館運営へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

早いもので、中央公民館館長に就任して、もうすぐ一年が経とうとしています。就任初日の帰り道、ふと立ち寄った八条ヶ池はちょうど夕暮れ時で、満開の桜がオレンジがかって見えました。中央公民館での新たな時間への期待感と共にその幻想的な風景は今でも鮮明に覚えています。このような素晴らしい立地にある中央公民館で、皆さまの活動や仲よさそうな様子を拝見させていただき感じた事は、ここでは誰もが幸せそうに生き生きしているという事です。仲間に出会いに来る人も、一人でも、また用事があっても無くても、受け入れてくれる場所。公サ連親睦会で

一人の方がおっしゃった言葉がとても印象的でした。「気持ちが悪く落ち込んだ時や鬱々とした気分の際にも、明日公民館でサークル活動があると思うと気持ちが晴れやかになる」。

このような場所を私たちは、「第三の場所(サードプレイス)」と呼んでいます。人生百年時代と呼ばれる現代において、その重要性はますます高まるのではと感じています。退職後の趣味であっても二十年、三十年続けていけば達人として極める事も可能かもしれない、とふと思ったりきっかけは、五月に開催された公サ連まつりでした。皆さんの手の込んだ素晴らしい作品や完成度の高い舞台の発表を初めて拝見し、各部屋の扉の向こうで日頃からこのような活動をされていたのかと知りました。まつりの合間、各サークルの方との



長岡京市立中央公民館 館長 山川 智叶

お話をとおして、仲間と鴨川にスケッチに行かれたり、福祉センターでダンスを披露するなど、中央公民館を拠点として活動範囲を広げておられることを知りました。いくつが本気(?)で私をサークルに誘っていただけ嬉しかったのですが、何より嬉しく思ったことは皆さんが私にとっての理想のロールモデルとして目に映った事でした。仲間と共に充実した日々を送る未来の生活。元気が増えるともちの印象ももっと良くなると思います。

自分が学びたいこと、まだ体験した事がないけどやってみたら意外と夢中になるかもしれない事、社会教育施設としての中央公民館の役割や存在価値をこれからもずっと模索していくと思います。

模擬店

5/24(土)

5/25(日)



模擬店

★おにぎり(みそ汁つき)
(公サ連・茶道クラブさわらび会)

美術工芸展
(11サークル)

美術工芸展
(11サークル)

芸能発表
(12サークル)

模擬店

★うどん(食を楽しむ会)



みんなで楽しもう!

午前 落語



午後 たけのこバンド

お茶席



5/24(土)・25(日) 茶道クラブゆずりは会

製品販売など

障がい福祉センターあらぐさ
乙訓福祉会(乙訓の里・乙訓楽苑)
乙訓若竹苑 ※午後2時まで

5/24(土)のみ